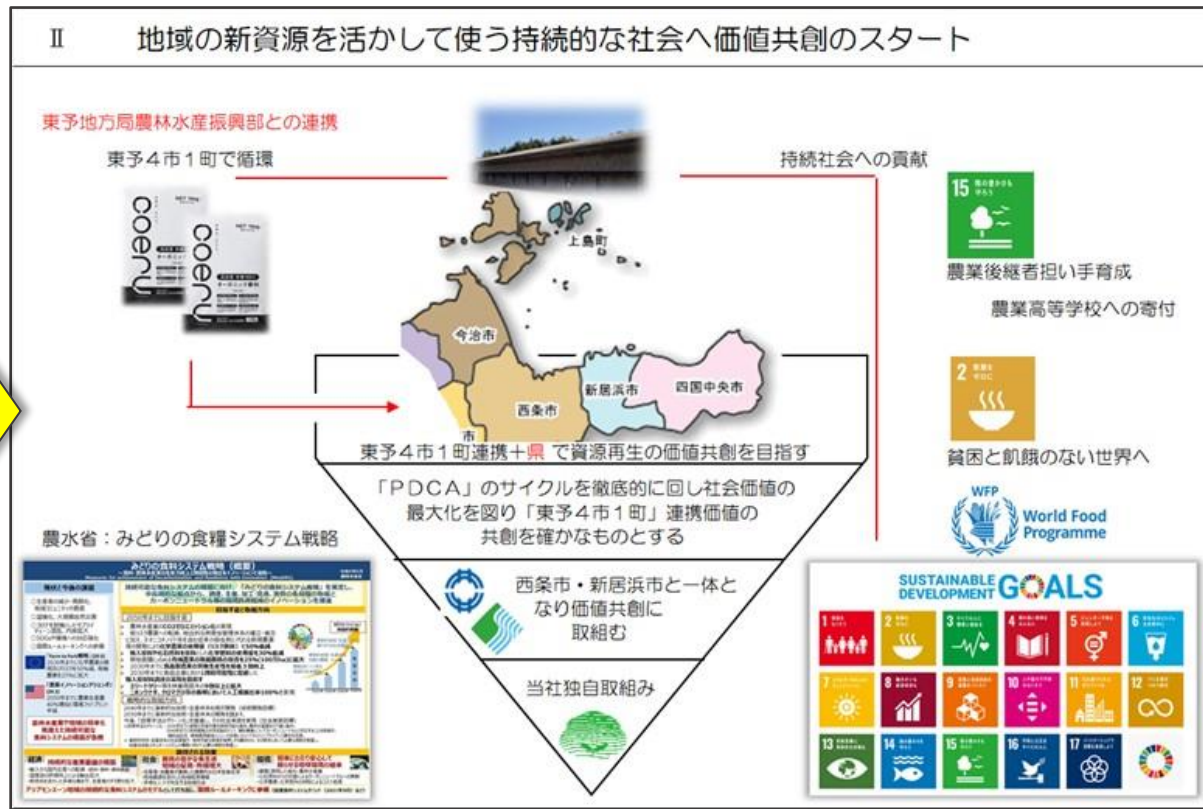
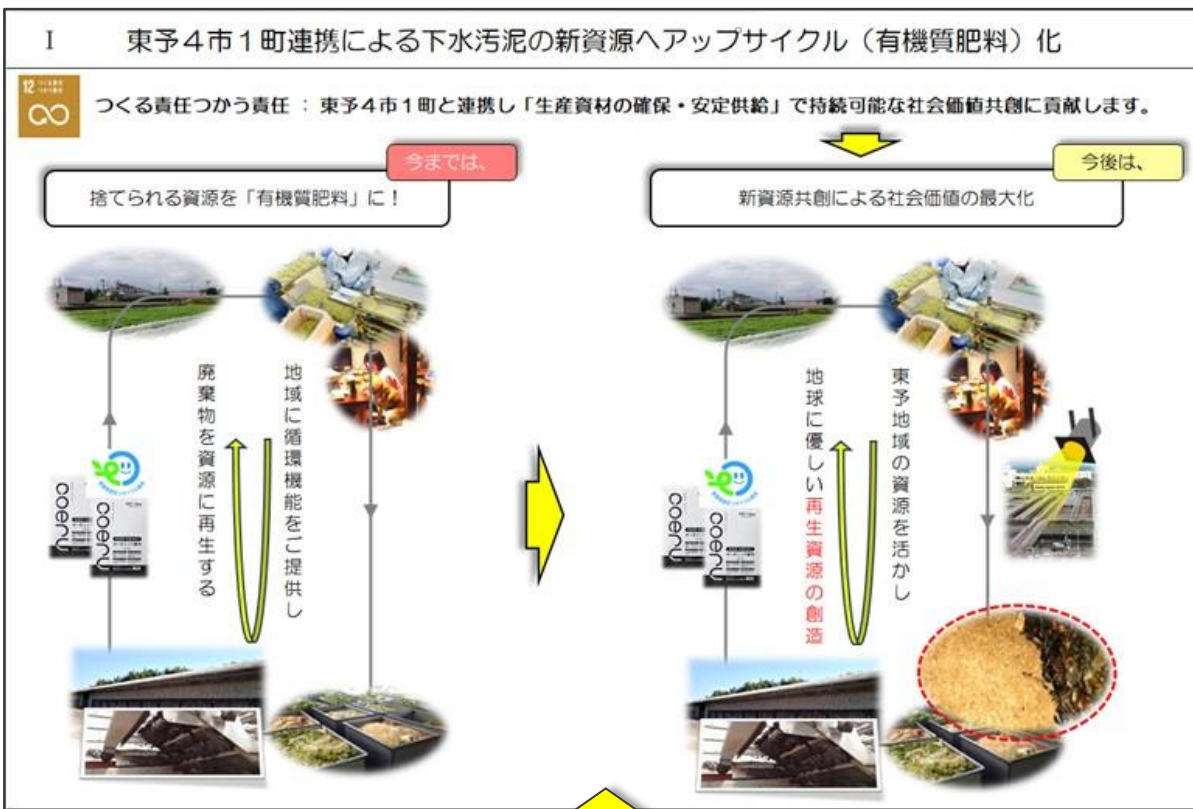


消費者志向経営 フォローアップ2023

株式会社日本有機四国

Action 1: 愛媛県東予4市1町自治体殿と新資源化への取り組み

国策を好機と捉え地域新資源のアップサイクル化を推進



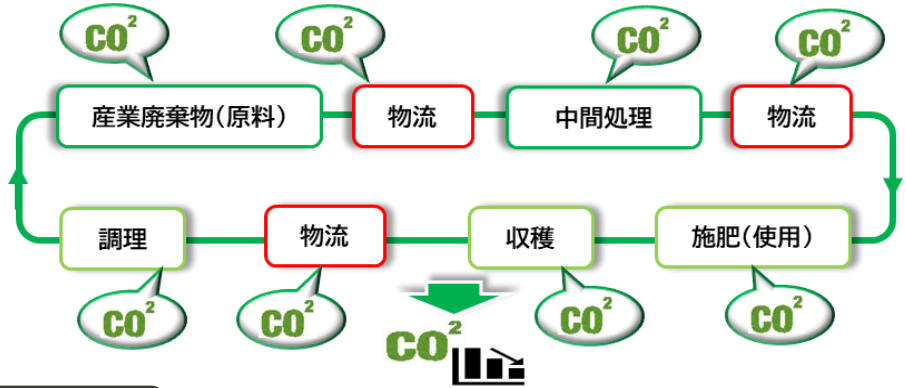
令和5年6月2日
食料安定供給・農林水産基盤強化本部にて
食料・農業・農村政策の新たな展開方向

令和4年9月9日
食料安定供給・農林水産基盤強化本部にて
『岸田首相が来年中に結果』を、と指示

Action2: 地域の『新資源』活用で地球規模の『課題解消:2』

脱炭素: 目指すは、スコープ3

産業廃棄物を活かしてつかう新資源化のサプライチェーン全体で脱炭素化を推進しています。



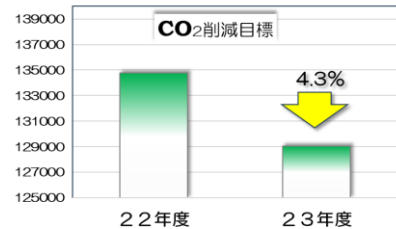
スコープ1

新資源化に現在「スコープ1」で課題解消の推進中です。

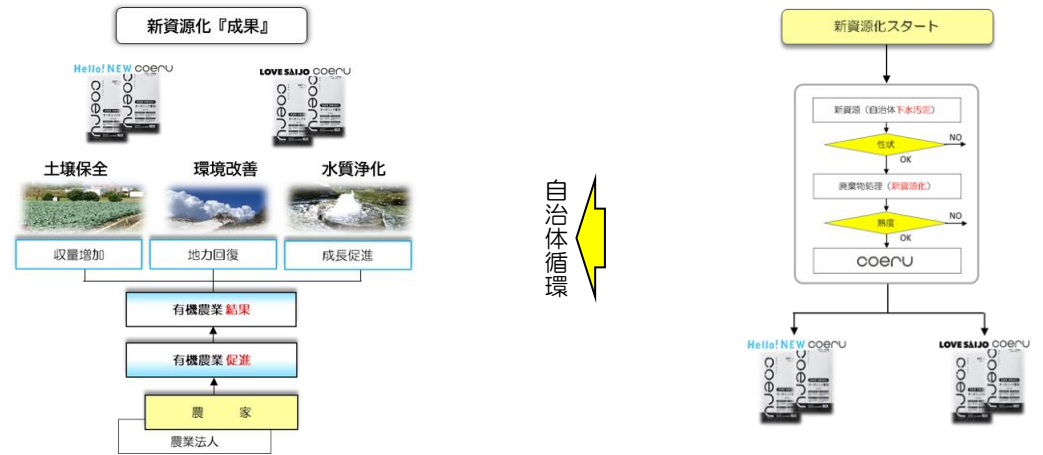


当社は環境経営に取り組んでいます。

23年度目標
前年比『4.3%低減』推進します。



自治体内循環で資源保全



東予4市1町連携推進の新資源化



Action3: 令和5年「COERU」施肥効果実証(ひのひかり米)

「あいテレビ」取材受け元肥(COERU) 施肥し3年目の実証

..... 10月6日稲刈り

1町歩栽培反当換算収穫量
19袋(前年平均=17袋)



品種:ひのひかり苗育苗中

元肥施肥し敲き ← COERU施肥(5月11日)



Action4:環境経営レポート

産業廃棄物サプライチェーンのスコープ3を目指す当社の取り組み



環境経営方針

■ 環境経営理念 ■

株式会社日本有機四国は、事業活動と環境配慮の両立を常に考え、全社一丸となって持続的な社会の実現に取り組みます。

■ 環境保全への行動指針 ■

I: 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

- ①「消費電力の削減」を通して二酸化炭素排出量の削減
- ②「産業車両燃料の削減」を通して二酸化炭素排出量の削減
- ③「一般廃棄物の削減」を通して二酸化炭素排出量の削減
- ④環境に配慮した、産業廃棄物処理の提供
- ⑤工場設備および産業車両の始業前点検の実施
- ⑥始業前の清掃活動の継続
- ⑦企業価値の向上と情報発信 ◀ 2023年度より

II: 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

③

2023年6月26日
株式会社日本有機四国
代表取締役 大石隆憲



ご挨拶

『地域のために会社はあり、会社は地域とともに栄える』

株式会社日本有機四国は、食の持続的な社会形成に貢献し食資源循環機能である『食品ロスの再生事業』を展開しています。

新型コロナ第6波が到来した2022年にはロシアがウクライナに進攻し食糧やエネルギー価格が高騰することとなりました。

産業廃棄物の再生処理は、原料の混練～肥料の商品化包装に至るまで多量の電力や産業車両燃料のエネルギーを使用し、資源循環におけるCO2排出量の把握と削減が求められています。

このことから2022年度における環境関連の実績を踏まえ、2023年度の取り組み計画を策定し脱炭素の確かな足取りで環境経営に取り組んでまいります。

②

2023年6月26日
株式会社日本有機四国
代表取締役 大石隆憲

事業所の概要

■ 概要 ■

会社名	株式会社日本有機四国
会社設立	1986(昭和61)年8月22日
資本金	30,000千円
事業年度	6月～5月
代表取締役	大石隆憲
本店所在地	愛媛県西条市旦之上乙303番地3
連絡先	電話 0898-66-5001 FAX 0898-66-4991 URL https://yuki-shikoku.co.jp Mail info@yuki-shikoku.co.jp

④



Action4:環境経営レポート

産業廃棄物サプライチェーンのスコープ3目指す当社の取り組み

経営理念・品質方針

■ 経営理念 ■

誠実奉仕を旨とし、浮利を追わず堅実経営をするべし

■ 品質方針 ■

持続的な社会の実現に資するサービスをご提供し
お客様と地域の満足を獲得する。このため以下を実施する。

- 1・お客様の要求の変化に合わせて、再生処理の継続的な改善に努め、品質の安定化を図る。
- 2・品質目標を設定し、目標の達成に努める。
- 3・品質保証のしくみを継続的に改善する。
- 4・誠実奉仕を旨とし、共創を基盤に、お客様の要求事項を遵守する。

⑤

当社のビジョン

■ SWOT分析 ■

	Strengths(強み)	Weaknesses(弱み)
内部環境	<ul style="list-style-type: none"> ・自然由来の有機物再生処理 ・動植物性残さ60% ・処理能力80トン/日 ・高品質有機肥料 ・ペレット状の付加価値提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・DX化遅れ(旧態以前の属人化作業) ・長期再生処理期間(6か月) ・顧客別原料受入数量バラツキ (平均値3.5トン/日 少=3トン 多=6トン) ・高固定費型収益構造(肥料販売チャネルが少数)
外部環境	<ul style="list-style-type: none"> ・地政学リスクによる化石由来肥料高騰 ・食糧安定供給、農林水産業基盤強化 (下水汚泥の新資源活用・岸田首相発言) ・みどりの食糧システム戦略 (農業生産の脱炭素化) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化による営農離れ ・同業大手ライバル参入 ・中小排出事業者の循環法認識欠如 ・化石由来肥料に対する国庫補助 ・農業協同組合の金融政策

⑥

環境負荷実績と目標

負荷項目		22年度実績	23年度目標	増減率
消費電力(動力) 二酸化炭素排出量	Kg-CO2 /Kwh	82,812.2	80,320.0	▲3.0%
消費電力(電灯) 二酸化炭素排出量	Kg-CP2 /Kwh	3,144.7	2,830.0	▲10.0%
産業車両燃料(軽油) 二酸化炭素排出量	Kg-CO2 /L	46,827.0	44,485.0	▲5.0%
産業車両燃料(灯油) 二酸化炭素排出量	Kg-CO2 /L	373.5	261.0	▲30.1%
産業車両燃料(ガソリン) 二酸化炭素排出量	Kg-CO2 /L	1,611.9	1,128.0	▲30.0%
計		134,769.3	129,024.0	▲4.3%
一般廃棄物排出量 (Kg)		392.0	314.0	▲19.9%

環境に配慮した産業車両への代替(フォークリフト(ガソリン車→クリーンディーゼル車))23年12月

⑦

環境負荷実績と目標

2022年度実績をベンチマークとし、2030年のニュートラルを目指す創業45周年に向けた第一歩となる新年度目標の設定をしました。

二酸化炭素排出においてはベンチマーク比5,800kgの削減を目指していますが、廃棄物処理に伴う産業車両使用燃料の改善が主な取り組みであり、廃棄物処理一連に係るDX化を推進する前提のハード整備となっております。

本質的な改革は創業45周年までに太陽光による再エネの導入を計画しており、働き方改革と併せ再生処理業務の改革に努め、二酸化炭素排出量の削減改革に努めてまいります。

⑧

Action5:農水省 農水省HP新資源活用先行事例掲載

3-11 食品残渣と工業汚泥を原料とした汚泥肥料をペレット化 (株式会社日本有機四国)

愛媛県西条市

2023年9月時点

食品残渣

ペレット

広域流通

○ 株式会社日本有機四国は、近隣の食品工場から排出される動植物性残渣や工業汚泥を肥料化した「ひめユーキ」をペレット化した「coeru (コエル)」を製造。

■国内資源の種類 ■肥料の種類・肥料名称

・動植物性残渣（総菜製造業者から発生する野菜くず、食品残渣）
・食品工業汚泥

・種類：汚泥発酵肥料
・肥料名：ひめユーキ（15kg袋）
愛媛県の優良リサイクル製品に認定。

■作物

・野菜
・水稲

■保証成分・特徴等

N	P	K	C/N比
3.9	7.4	3.0	4

・完全発酵で、ゆっくりと長い期間、効果が続く。
・従来の汚泥肥料をペレット化し、家庭で使いやすい肥料として、「coeru (コエル)」を販売。

■取組の経緯・内容・成果（見込み）

取組の経緯

・総菜製造業者での食品製造過程で発生する食品残さや、食品工場汚泥を受け入れ、完全発酵した汚泥肥料「ひめユーキ」を開発。肥料をもっと利用してもらおうと令和3年に、家庭菜園でも利用しやすいペレット化に取り組む。

取組の内容

・近隣の食品工場等で発生した動植物性残渣と食品工業汚泥をほぼ7対3の割合で混合し、水分調整後に自然発酵させ、約半年かけて熟成させる完全発酵。
・農家だけではなく、家庭菜園やベランダ菜園でも使いやすいよう、散布時の粉じん発生を抑え臭いが少ないペレット状の「coeru (コエル)」(商品名)を作成。従来から販売している「ひめユーキ」15kg袋に加え、ペレット状のcoeru (コエル)は家庭で使いやすいよう、15kg袋の他に1.5kgの小袋を用意。シンプルで洗練されたパッケージで、小袋はコンビニでも販売している。

成果（見込み）

・水稲では苗の根付き良く、同圃田より生育良好で収量は10%程度増加。
・里芋では初期生育の根付き良好、収量は20%増加。

■主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■今後の課題・取組

・持続可能な未来づくりのためにも、地域で出た廃棄物は再生させ、地域へ還元することが重要と考え、今後も、資源循環型社会のモデルとなるような資源再生を行う。



ペレット状のcoeru (コエル)



シンプルで洗練されたパッケージ

An aerial photograph of a coastal town and surrounding farmland. The foreground shows green fields and a road. The middle ground is a dense residential and commercial area. In the background, there's a large body of water and distant mountains under a bright blue sky with scattered white clouds.

消費者志向経営 フォローアップ2023

株式会社日本有機四国